

事務事業評価表(既存事業)

コード 4-2-3	事務事業名 商店街活性化推進事業(広域商店会活動)	所管部課 市民生活部産業振興課					
事務事業の概要	事務事業の目的 商店街活性化推進事業に要する経費の一部を市が補助することにより、商店街の発展と地域経済の活性化を図ることを目的とする。	総合計画上の位置づけ (政策)活力と魅力あるまちづくり (施策)産業の振興(活1-1) (主要施策)商店街振興プランの推進()、地域活性化の推進()					
	実施内容、実施方法 複数の商店街が連携したイベントの開催や、広域からの集客力向上が期待できるイベントについて支援 商店街共同施設・福利厚生施設の施設工事費、商店街をPRするためのイルミネーション等の装飾経費、商店街を活性化させるための催事経費の一部を補助	根拠法令等 西東京市商店街活性化推進事業補助金交付要綱					
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 支援数	活動指標の考え方(定義) 商店街イベント等開催についての支援数					
	成果指標名 参加者数	成果指標の考え方(定義) 商店街イベントに参加した人数					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		1,579	4,116	4,851	4,717	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,579	4,116	4,851	4,717	
	所要人員(B)	人	0.05	0.05	0.05	0.05	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	412	414	416	416	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	1,991	4,530	5,267	5133	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(支援数)	千円	996	2,265	2,634		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	回			2	2
		実績値	回	2	2	2	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	人			22,000	25,000	
	実績値	人	-	18,000	25,000		
成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)						
	国・都・他市・民間等における類似事業		東京都・他市区町村においても同様の施策を実施している。				
	運営上の制約条件・外部要因等		東京都の補助制度に左右される。				

コード 4-2-3	事務事業名 商店街活性化推進事業(広域商店会活動)	所管部課 市民生活部産業振興課
--------------	------------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	支援を行っているイベント等が、地域に定着し、市民に還元するとともに、主催商店街の存在感をアピールしている。それによって、商店街の発展に寄与している。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	商店街の存在感・力を市民にアピールするために商店街が行う事業について、支援を行う必要がある。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	事務効率上、滞りなく行われており、特に問題はない。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	毎年、市内商店街に対し説明会を開催し、全商店街が当制度を利用できるようにしている。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	実績・必要性・効率性・公平性のいずれの観点から見ても、継続実施する必要がある。

17年度における改善点	特になし
-------------	------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。